

- ▶ 徳島市で最も高い中津峰山を源流とした八多川沿いにあり、とくしま市民遺産の一つに選ばれている五滝であるが、現在では倒木や岩で荒れ放題となっており、景観を損ねている。また、増水するたびに倒木が八多川に流れており、防災面においても問題がある。そのため、倒木の整理や道の整備を行うことで美しい景観や防災面での安全を守り、訪れる人々に手入れされた森林に触れてもらうことを通して、森林のあるべき姿を見てもらい、森林整備の重要性を感じ、森林環境譲与税の用途への理解を深めてもらえるような展示森林を目指していく。
- ▶ 令和3年度は、五滝周辺展示森林モデル事業における森林環境教育普及啓発活動を実施し、近隣の児童及び保護者等の総数43名がこの事業に参加した。また、五滝周辺の森林境界明確化を進め、森林整備も併せて行っている。
- ▶ 令和4年度においても、森林環境教育普及啓発活動を行いつつ、同地域の間伐等の森林整備も進めていく。

## □ 事業内容

### 五滝周辺展示森林モデル事業における森林環境教育普及啓発活動

- ・ 紙芝居を用いた森の大切さの説明、五滝近くの犬飼地区の産業である菌床シイタケの育て方の説明、巣箱の設置、五滝周辺の森林環境に関するクイズ徒歩ラリー、遊歩道でのごみ拾い及びごみの分別などを行い、近隣の児童及び保護者等がこの事業に参加した。

【事業費】 323千円（全額譲与税）

【実績】 参加人数：総数43人

（児童20名、保護者13名、関係者10名）



（紙芝居を用いた森の大切さの説明）



（五滝遊歩道のごみ拾いと倒木等により荒廃した五滝の現状を観察）

## □ 事業スキーム

### 五滝周辺展示森林モデル事業における森林環境教育普及啓発活動



## □ 工夫・留意した点

- ・ 森林整備の重要性と、地域の暮らしの結びつきを感じてもらえる活動内容となるよう工夫をした。
- ・ 紙芝居を用いた教育を行うところから自然の中で行うことによって、森林や林業などがより身近に感じてもらえるよう工夫をした。

## ◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	31,043千円
②私有林人工林面積（※1）	934ha
③林野率（※2）	26.4%
④人口（※3）	252,391人
⑤林業就業者数（※4）	77人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、

※4：「H27年国勢調査」より